

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成21年8月6日(2009.8.6)

【公表番号】特表2008-546827(P2008-546827A)

【公表日】平成20年12月25日(2008.12.25)

【年通号数】公開・登録公報2008-051

【出願番号】特願2008-518825(P2008-518825)

【国際特許分類】

C 0 7 D 221/20 (2006.01)

C 0 7 D 409/04 (2006.01)

C 0 7 D 405/04 (2006.01)

A 6 1 K 31/438 (2006.01)

A 6 1 K 31/4535 (2006.01)

A 6 1 K 31/4525 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 25/24 (2006.01)

A 6 1 P 25/18 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 P 25/22 (2006.01)

A 6 1 P 25/16 (2006.01)

A 6 1 P 25/36 (2006.01)

A 6 1 P 25/34 (2006.01)

A 6 1 P 25/32 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

A 6 1 P 25/06 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 13/02 (2006.01)

A 6 1 P 15/08 (2006.01)

A 6 1 P 15/10 (2006.01)

A 6 1 P 15/12 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 221/20 C S P

C 0 7 D 409/04

C 0 7 D 405/04

A 6 1 K 31/438

A 6 1 K 31/4535

A 6 1 K 31/4525

A 6 1 P 43/00 1 1 4

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 25/24

A 6 1 P 25/18

A 6 1 P 3/04

A 6 1 P 25/22

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 25/36

A 6 1 P 25/34

A 6 1 P 25/32

A 6 1 P 25/04

A 6 1 P 25/06
 A 6 1 P 19/02
 A 6 1 P 13/02
 A 6 1 P 15/08
 A 6 1 P 15/10
 A 6 1 P 15/12

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月22日(2009.6.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

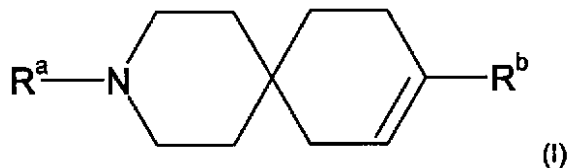
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 I の化合物：

【化 1】



[式中、

R^a は、水素又はアルキルを表し；

このアルキルは、

ハロ、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシ、シアノ、ヒドロキシ、アミノ、ニトロ、アルコキシ、シクロアルコキシ、アルキル、シクロアルキル、シクロアルキルアルキル、アルケニル及びアルキニル

からなる群から独立に選択される 1 つ又は複数の置換基により任意選択で置換されており；

R^b はアリール又はヘテロアリール基を表し、

このアリール又はヘテロアリール基は、

ハロ、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシ、シアノ、ニトロ、ヒドロキシ、アルコキシ、シクロアルコキシ、アルコキシアルキル、シクロアルコキシアルキル、メチレンジオキシ、エチレンジオキシ、アルキル、シクロアルキル、シクロアルキルアルキル、アルケニル、アルキニル、 $-NR'R''$ 、 $-(C=O)NR'R''$ 又は $-NR'(C=O)R''$

からなる群から独立に選択される 1 つ又は複数の置換基により任意選択で置換されており、

R' 及び R'' は互いに独立に、水素又はアルキルである]

、その任意の異性体又はその異性体の任意の混合物、或いは薬学的に許容されるこれらの塩。

【請求項 2】

R^a が水素又はアルキルを表す、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 3】

R^b がフェニル基を表し、このフェニル基が、ハロ、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシ、シアノ及びアルコキシからなる群から独立に選択される 1 つ又は複数の置換

基により任意選択で置換されている、請求項 1 又は 2 に記載の化合物。

【請求項 4】

R^b がフェニル基を表し、このフェニル基が、ハロ、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシ、シアノ及びアルコキシからなる群から独立に選択される置換基により 1 回又は 2 回置換されている、請求項 1 又は 2 に記載の化合物。

【請求項 5】

R^b がナフチル基を表し、このナフチル基が、ハロ、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシ、シアノ及びアルコキシからなる群から独立に選択される 1 つ又は複数の置換基により任意選択で置換されている、請求項 1 又は 2 に記載の化合物。

【請求項 6】

R^b がピリジル基を表し、このピリジル基が、ハロ、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシ、シアノ及びアルコキシからなる群から独立に選択される 1 つ又は複数の置換基により任意選択で置換されている、請求項 1 又は 2 に記載の化合物。

【請求項 7】

R^b がベンゾフラニル基を表し、このベンゾフラニル基が、ハロ、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシ、シアノ及びアルコキシからなる群から独立に選択される 1 つ又は複数の置換基により任意選択で置換されている、請求項 1 又は 2 に記載の化合物。

【請求項 8】

R^b がベンゾ [b] チエニル基を表し、このベンゾ [b] チエニル基が、ハロ、トリフルオロメチル、トリフルオロメトキシ、シアノ及びアルコキシからなる群から独立に選択される 1 つ又は複数の置換基により任意選択で置換されている、請求項 1 又は 2 に記載の化合物。

【請求項 9】

9 - (3 , 4 - ジクロロ - フェニル) - 3 - アザ - スピロ [5 . 5] ウンデカ - 8 - エン ;

9 - ベンゾ [b] チオフェン - 2 - イル - 3 - アザ - スピロ [5 . 5] ウンデカ - 8 - エン ;

9 - ベンゾフラン - 2 - イル - 3 - アザ - スピロ [5 . 5] ウンデカ - 8 - エン ;

9 - (6 - メトキシ - ナフタレン - 2 - イル) - 3 - アザ - スピロ [5 . 5] ウンデカ - 8 - エン ;

9 - (2 , 3 - ジクロロ - フェニル) - 3 - アザ - スピロ [5 . 5] ウンデカ - 8 - エン ;

9 - (2 - クロロ - フェニル) - 3 - アザ - スピロ [5 . 5] ウンデカ - 8 - エン ;

9 - (3 - クロロ - フェニル) - 3 - アザ - スピロ [5 . 5] ウンデカ - 8 - エン ;

9 - (4 - クロロ - フェニル) - 3 - アザ - スピロ [5 . 5] ウンデカ - 8 - エン ;

9 - (4 - クロロ - 3 - メトキシ - フェニル) - 3 - アザ - スピロ [5 . 5] ウンデカ - 8 - エン ;

9 - (6 - ブロモ - ピリジン - 2 - イル) - 3 - アザ - スピロ [5 . 5] ウンデカ - 8 - エン ;

9 - ナフタレン - 2 - イル - 3 - アザ - スピロ [5 . 5] ウンデカ - 8 - エン ;

9 - (3 , 4 - ジクロロ - フェニル) - 3 - メチル - 3 - アザ - スピロ [5 . 5] ウンデカ - 8 - エン ;

9 - ベンゾフラン - 2 - イル - 3 - メチル - 3 - アザ - スピロ [5 . 5] ウンデカ - 8 - エン ;

9 - ベンゾ [b] チオフェン - 2 - イル - 3 - メチル - 3 - アザ - スピロ [5 . 5] ウンデカ - 8 - エン ;

9 - (6 - メトキシ - ナフタレン - 2 - イル) - 3 - メチル - 3 - アザ - スピロ [5 . 5] ウンデカ - 8 - エン ;

又は薬学的に許容されるこれらの塩である、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 10】

請求項 1 から 9 までのいずれか一項に記載の化合物、
その任意の異性体若しくはその異性体の任意の混合物、又は薬学的に許容されるこれらの塩を含む医薬。

【請求項 1 1】

ヒトを含めての哺乳動物の疾患又は障害又は状態の治療、予防又は軽減のための請求項 1 0 に記載の医薬であって、この疾患、障害又は状態が中枢神経系におけるモノアミン神経伝達物質再取り込みの障害に応答するものである上記医薬。

【請求項 1 2】

前記疾患、障害又は状態が気分障害、鬱病、非定型鬱病、鬱病併発疼痛、大鬱病性障害、気分変調性障害、双極性障害、双極Ⅰ型障害、双極ⅠⅠ型障害、気分循環性障害、一般身体疾患による気分障害、物質誘発性気分障害、仮性認知症、ガンゼル症候群、強迫性障害、パニック障害、広場恐怖症を伴わないパニック障害、広場恐怖症を伴うパニック障害、パニック障害の病歴のない広場恐怖症、パニック発作、記憶障害、記憶喪失、注意欠陥多動性障害、肥満、不安、全般性不安障害、摂食障害、パーキンソン病、パーキンソン症候群、認知症、老化による認知症、老年認知症、アルツハイマー病、後天性免疫不全症候群、認知症複合、加齢による記憶障害、特定恐怖症、社会恐怖症、社会不安障害、外傷後ストレス障害、急性ストレス障害、薬物依存症、薬物乱用、コカインの乱用、ニコチンの乱用、タバコの乱用、アルコール依存症、アルコール中毒、窃盗症、疼痛、慢性疼痛、炎症性疼痛、神経因性疼痛、偏頭痛、緊張型頭痛、慢性緊張型頭痛、鬱病に伴う疼痛、線維筋痛症、関節炎、変形性関節炎、関節リウマチ、背部痛、癌性疼痛、過敏性腸疼痛、過敏性腸症候群、術後疼痛、乳房切除後疼痛症候群（P M P S）、卒中後痛、薬物誘発性神経障害、糖尿病性神経障害、交感神経依存性疼痛、三叉神経痛、歯痛、顔面筋疼痛、幻肢痛、大食症、月経前症候群、月経前不快気分障害、黄体期後期症候群、外傷後症候群、慢性疲労症候群、尿失禁、ストレス尿失禁、切迫性尿失禁、夜間失禁、性機能障害、早漏、勃起困難、勃起障害、早すぎる女性のオルガスム、不穏下肢症候群、周期性四肢運動障害、摂食障害、神経性食欲不振症、睡眠障害、広汎性発達障害、自閉症、アスペルガー障害、レット障害、小児期崩壊性障害、学習障害、運動能力障害、緘黙症、抜毛癖、ナルコレプシー、脳卒中後鬱病、卒中誘発脳損傷、卒中誘発ニューロン損傷、ジルドラトウレット病、耳鳴り、チック障害、身体醜形障害、反抗挑戦性障害又は卒中後能力低下である、請求項 1 1 に記載の医薬。